

比べてビックリ!! 20年前の真実

広報ひこね掲載イラストの男女比

2002年 広報ひこね掲載イラスト

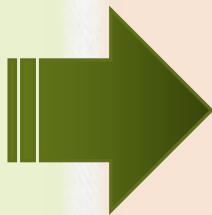
2002年1月~12月号

	男性 (男児)	女性 (女児)
医師	6	0
看護師	0	5
働く人	26	6
成人	71	59
子ども	44	42

2021年 広報ひこね掲載イラスト

2021年1月~12月号

	男性 (男児)	女性 (女児)
医師	2	5
働く人	8	6
成人	63	59
子ども	30	26



2002年の広報ひこねでは、子どものイラストの男女比は、ほぼ同数ですが、医師や働く人については男性のイラストが圧倒的に多い結果でした。また、医師は全て男性で、逆に看護師は全て女性のイラストでした。広報物による表現の繰り返しは、それを受け取る市民へ無意識のうちに「医師=男性」「看護師=女性」「働く人=男性」というイメージを植え付け、知らず知らずのうちにアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）のもとになってしまう恐れがあります。

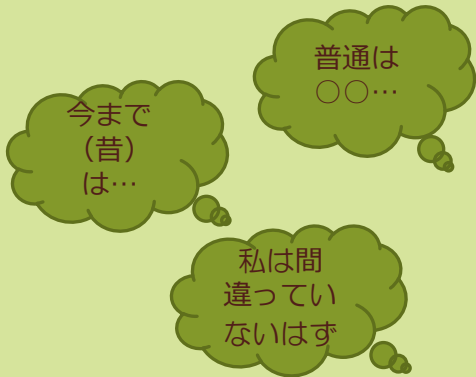
一方、2021年の広報ひこねでは、「働く人」のイラスト数ではほぼ男女平等となっています。こうしてみると、表現の仕方は変わってきていることが分かります。いろいろな表現が改められ、受け手の意識も変わってきている中、「今までどおり」の表現で良いのかどうか、今一度、見直してみましよう。

＜男女共同参画の推進のための長年の様々な取組＞

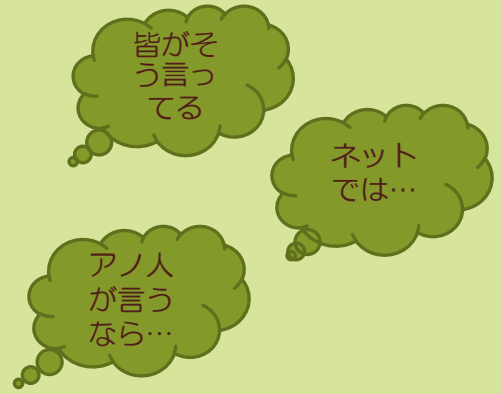


＜男女共同参画の推進を妨げているモノ＞

## 無意識の思い込み



## 無関心・ノーチェック



私ができること、今日から実践！

- ・47 メディア・リテラシー向上のための取組
- ・63 表現ガイドラインの活用



✦ 見たり、聞いたりした情報が本当に正しいか主体的に考えて判断する力（メディア・リテラシー）をつけましょう！

✦ 自分が発信する情報が無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）による表現になっていないか注意しましょう！彦根市表現ガイドランでチェック！！

